

辻堂地区福祉だより



第77号

◆ 辻堂地区 ◆
面積 4.377km²
人口総数 44,207人
世帯数 19,535世帯
2024年6月1日現在

発行/辻堂地区社会福祉協議会 編集/広報部会 事務局/辻堂市民センター Tel.34-8661

おたのしみ昼食会

今日のメニューはなにかな…とつてもたのしみです！

いただきます！ 大きく元気な声が部屋中に響きます。辻堂市民センター2階談話室からのようです。これから“おたのしみ昼食会”の始まりです。“おたのしみ昼食会”は辻堂地区社会福祉協議会による行事の一つで、地域を4つに分けて年8回開催しており、辻堂地区にお住まいで75歳以上のお一人暮らしの方を対象にご参加頂いています。お一人暮らしの方が外へ出かけ、参加者の皆さんとお話ししながら昼食を囲み、楽しいひと時を過ごす機会をつくる、そんな昼食会です。

昼食会の開始前には、藤沢市の健康づくり課、高齢者支援課、辻堂東・西いきいきサポートセンターの協力による健康相談コーナーを設け、血压測定や日々の不安の相談をお受けし、皆様に大変よろこばれています。

ところで、この毎回の昼食会の食事はどの様に用意されているのでしょうか？ご協力を頂いているのは“辻堂地区昼食ボランティアの会”の40人余のボランティアの皆さんです。

メニュー考案、食材調達、そして当日の調理作業。辻堂市民センター調理室で、早朝からフル稼働での食事準備となります。ボランティアの皆さんには、本当に



みんなで楽しく、お食事の風景

感謝です！可愛い箸袋や食事の脇に置かれた献立カードなど、心のこもった楽しい昼食会を実現していただいています。

つい最近まで、コロナ感染症の防止のための対策が色々とりられてきましたが、令和5年度から従来どおりの昼食会ができるようになりました。参加者の方は、「一人暮らしでは作ることが出来ないような食事がおいしく食べられた。また来るのが楽しみだ」とおっしゃっていました。

高齢者のお一人暮らしの方々は、益々増えていきます。まずは健康第一です。元気な日々を永く続けられるように、お互い頑張りましょう。



調理ボランティアの皆さん、いつもありがとうございます！



食事前の健康相談の様子

辻堂地区総合防災訓練

～要支援者体験事業～

2023年11月26日（日）、辻堂小学校で辻堂地区総合防災訓練が行われました。その中で関係機関として、辻堂地区社会福祉協議会も要支援者体験事業の行事として参加しました。

ここでは、高齢者疑似体験と車いす操作訓練を実施しました。高齢者疑似体験は、視野を狭くするためゴーグルを着け、手と足に重りを装着させ、高齢者になりきって歩いてみるという体験のコーナーでした。そして車いす操作訓練は、二人一組となって、車いすの乗り方、乗らせ方を覚えていただき、あるコースを一周して帰ってくるというコーナーです。コースには坂道や段差のある箇所も含まれており、そこでの操作も体験してもらいました。

いずれも高齢者や障がい者になりきっての体験ですが、若い方や子どもたちにも体験してもらうことが出来



小さい子も頑張っていました！

ました。高齢者が歩いている時の不安な気持ちを少しでも理解していただけたら、この企画をした甲斐があったと思います。お互い助け合うことを大切にしましょう。



車いす体験。準備の様子



高齢者疑似体験の様子

祝 百歳

大正・昭和・平成・令和にわたる
ご活躍に心から敬意を表し、
お祝い申し上げます。

大八木 キヨ子様
大正13年1月1日生

京塚 豊様
大正13年1月25日生

戸塚 喜代子様
大正13年2月2日生

掛川 正二様
大正13年2月17日生

征矢 君子様
大正13年3月20日生

田中 貞子様
大正13年3月20日生

佐藤 房子様
大正13年5月3日生

(2024年1月～2024年6月までの方)

不登校等に関する悩みについて気軽に語り合える場

「かけはし」

◆日時…第2・4金曜日 10時～12時

◆場所…辻堂西海岸2-1-17
(辻堂市民センター和室)

◆対象…辻堂地区にお住まいで不登校等の子どもを持つご家族の方
※不登校等の児童・生徒も利用できます。

◆参加費…無料

◆問い合わせ先…辻堂市民センター
☎0466-134-8661
fj-tsujic@city.fujisawa.lg.jp

問い合わせ…辻堂市民センター Tel 34-8661



辻堂地区社会福祉協議会
会長 関口 望

辻堂地区社会福祉協議会会長ご挨拶

日本の「豊かさランキング(人間開発指数)」が昨年より2位下がって世界第24位(今年発表された国連報告)という発表をご存じですか。教育や所得水準で豊かさを測る国のランクですが、他の貧困国に比べるとそれなりのランクだと思います。しかしまだ日本でも貧困に喘いでいる低所得者や余裕のない生活をしている若い家庭があります。

誰でもが幸福な生活をしたいと願っていますので、政府もいろいろな支援策を打ち出していますが、まだまだ行き届きません。

また6月に発表された我が国の昨年出生数は過去最少(約72万人)、婚姻数も90年ぶりに下がり(47万組)、少子化と人口減少が加速しています。このような現況から政府は6月に少子化対策として、「子ども・子育て支援法」を成立させました。

政府が社会福祉政策を実施し、強い者が弱者を支え、多くのことをボランティア精神で行い全国民が豊かな生活をしていくのが理想です。

そして心も豊かにならなければ本当の幸福とは言えません。

令和6年度 定期総会

辻堂地区社会福祉協議会の定期総会を5月8日に辻堂市民センターにおいて開催いたしました。

コロナの猛威も弱まって、事業計画がコロナ禍前とほとんど同じように実施され、地域の方の喜ぶ声、うれしそうな顔が多くありました。

総会ではそのように実施された事業報告と決算報告をし、令和6年度の事業計画と予算案を提出して可決されました。コロナ感染が完全になくなることを願い、各種福祉事業、ふれあい事業に前向きに取り組んでいきたいと考えております。地域の皆様のご協力とご理解をよろしくお願いいたします。

令和5年度 決算報告書(一般会計)

(1) 歳入		(2) 歳出	
会費	1,390,900円	事務費	185,303円
補助金	2,071,150円	ふれあい部会費	500,026円
交付金	527,000円	福祉部会費	3,431,466円
バザー売上金	472,355円	広報部会費	399,520円
参加者負担金	32,000円	協力費	400,000円
雑収入	9円	事業保険料	29,424円
繰入金	0円	視察研修費	49,603円
繰越金	851,700円	予備費	1,000円
繰入金	0円	繰出金	0円
繰越金	851,700円	繰越金	348,772円
合計	5,345,114円	合計	5,345,114円
		※348,772円は令和6年度へ	

令和6年度 予算(一般会計)

(1) 歳入		(2) 歳出	
会費	1,390,900円	事務費	295,000円
補助金	2,071,150円	ふれあい部会費	570,000円
交付金	527,000円	福祉部会費	3,450,000円
バザー売上金	470,000円	広報部会費	400,000円
参加者負担金	32,000円	協力費	400,000円
雑収入	178円	事業保険料	30,000円
繰入金	443,000円	視察研修費	30,000円
繰越金	348,772円	予備費	108,000円
合計	5,283,000円	合計	5,283,000円

お知らせ 令和6年度行事予定

●福祉バス旅行

日程…8月20日(火)
行き先…神奈川県立生命の星・地球博物館、
かまぼこの里

●地引網

日程…9月7日(土)
場所…辻堂西海岸(五郎引網)
家族とのふれあい事業として開催します。

●敬老会

日程…9月25日(水)・26日(木)
場所…辻堂市民センター
今年は85歳以上の方が対象となります。
※お祝品は88歳、90歳、95歳、99歳の方が対象です。

●おたのしみ昼食会

ひとり暮らし高齢者を対象とした昼食会を開催するとともに、健康相談もあわせて実施します。
日程…11月〜3月

●福祉バザー事業

日程…11月2日(土)・9日(土)・10日(日)
※11月9日(土)・10日(日)は、公民館まつりと同時開催
福祉バザーへのご寄贈をお願いいたします。
このバザーの収益金は、地区の社会福祉活動に活用させていただきます。

●要支援者体験事業

日程…11月24日(日)
場所…藤沢市立浜見小学校
辻堂地区総合防災訓練内において次のとおり実施します。

●無料貸出を行っています。

①高齢者疑似体験 ②車いす操作訓練
当協議会で購入した備品は、無料で貸出を行っています。地元のお祭りやレクリエーションの際には、ご活用ください。

辻堂地区 社会福祉協議会・自治会連合会 合同視察研修 東京消防庁 本所防災館での災害体験

藤沢市地域福祉計画2026では、施策の方向性の1つに災害時に備えた地域づくりの推進が掲げられています。そこで、自主防災の要である自治会長・町内会長連絡協議会と合同で、2024年2月27日(火)に東京消防庁本所防災館で災害を模擬体験し、防災意識を高めてきました。

暴風雨体験などたくさんの体験をする中で、特に水害コーナーでは10cmの水がたまっただけで扉を押し開けることが出来ず、水害の怖さを実感するとともに早めの避難の大切さを痛感しました。

また、地震コーナーではつかまるところもないマ



洪水体験 扉がこんなに重いとは…



地震体験 あまりの揺れに、丸まったまま動けません

ットが敷いてあるだけの部屋で震度7を体験しました。頭を腕で守り、丸くなって身をふせるのが精一杯で、これで物が落ちてきたり、倒れてきたらと思うとゾッと、家具転倒防止器具やガラスの飛散防止フィルムの必要性を感じました。

ここで体験したことを皆さんにお伝えし、普段からの備えと早めの避難を呼びかけていきたいと思います。



暴風体験 風雨の強さで頭が上げられませんでした!

監 事	理 会 事 計	副 会 長
〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃	〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃	〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃
橋 徳 吉 國 植 秋 長 佐 田 近 水 末 坂 赤 森 吉 伊 杉 生 山 関	本 嶋 田 弘 村 葉 田 木 頭 藤 村 吉 本 塚 外 田 藤 澤 駒 田 口	修 秀 秀 信 成 五 洋 悠 眞 三 育 明 商 業 紀 和 寛 幸 泰
二 明 樹 子 江 誠 鈴 子 子 美	路 千 さ 雄 孝 宇 麻 光 淳	可 春 ら 貴 幸 昇 広 里 江 一

令和6年度
辻堂地区社会福祉協議会役員

事務局 辻堂市民センター
職員一覧
センター長



石宮 狩野 新桐 松相 中横
田木 尾山 倉山 本澤 丸田
路千 さ雄 孝 宇麻 光淳
可春 ら貴 幸昇 広里 江一

あ と が き

『自治会のデジタル化は今後必要となってくる。しかし世代間の断絶はデジタル化でより鮮明になってしまったように感じる。』という文章を目にしました。電子回覧板デジタル掲示板の導入はこれからの自治会町内会活動には必要なことでしょう。行政からの連絡ごとや町内でのお知らせ、行事参加の出欠確認など、連絡調整等に係るものを効率化するのは、迅速にできて便利だと思います。デジタル化していくことで、世代間やご近所の交流が希薄化していくことが無いよう心がけていきたいです。(I・F)